※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合ａ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「家庭総合　明日の生活を築く」（開隆堂）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生活についていろいろな側面から学習します。正しい知識を身につけ、活用できるように学習していきましょう。
・友達の考えを知り、多様な考え方があることを感じてください。そのうえで、自分だったらどうするかを考え、言語化できるように努力してみましょう。
・「こうなっているから」「法律で決まっているから」「昔からこうだから」と思考停止してしまわずに、なぜそうなっているのか、もっといい方法はないのか、考える態度を身につけましょう。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（1）人の一生と家族・家庭及び福祉，食生活，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
（3）様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な食生活、生活設計と家族、消費生活などを理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を想像し、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
四月（十月）	生活設計	・人の一生と発達課題 ・青年期を生きる ・自立ってなんだろう ・リスクに備える ・社会保障制度の仕組みを知ろう ・共生社会に向けて	a:人の一生について自己と他者、社会とのかかわりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定していくことの重要性について理解している。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および職業生活について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 c:よりよい生活や社会の実現に向けて、障害の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善した	単元テスト	ワークシート 単元テスト	ワークシート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

			りして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。			
五月（十一月）	消費生活	・生活を支える家計 ・なぜ貯蓄をするの？ ・消費者問題ってどんなこと？ ・悪質商法 ・消費行動と意思決定 ・国・世界とつながる家計 ・情報社会を消費者として生きる ・持続可能な社会とライフスタイル	a：家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会とのかかわりについて理解している。 生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理が適切にできる。 b：生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて考察し、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 c：よりよい生活や社会の実現に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	単元ゲスト	ワークシート 単元テスト	ワークシート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

六月（十二月）	家族	・家族ってなんだ？ ・いろいろな家族 ・家族についての法律の昔と今 ・結婚・離婚について ・夫婦別姓 ・現代の家族をめぐる課題	a：生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解している。 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解している。 家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わり、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。 b：家庭や地域のより良い生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員として役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 c：よりよい生活や社会の実現に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	単元テスト	ワークシート 単元テスト	ワークシート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

七月（一月）・八月（二月）	食生活	・食生活の基礎知識 ・食生活について考えてみよう ・食品の表示と食品添加物 ・バランスの良い食生活とは？ ・食品の保存と衛生	a:食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など食と人とのかかわりについて理解している。 ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理が適切にできる。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理が適切にできる。 b:主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 c: よりよい生活や社会の実現に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	単元テスト	ワークシート 単元テスト	ワークシート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度